

Ⅲ 重点整備地区の設定

Ⅲ-1 重点整備地区の範囲及び生活関連施設と生活関連経路の検討

1. 生活関連施設の選定

バリアフリー法では、高齢者、障害者等が日常生活または社会生活においてよく利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設などの施設を「生活関連施設」と定義している。

これに基づき本基本構想では、主として以下に示す条件を満たす施設を生活関連施設として設定する。

- ① 高齢者や障害者等を含む不特定多数の人が利用する施設であること。
- ② その施設へ至る手段が、主に二俣川駅からの徒歩であること。（駅から半径500m以内。ただし、広域利用圏を持つ公共施設等は、この限りではない。）

上記の考え方を踏まえて生活関連施設を、表 3-1 のとおり選定した。なお表 3-2 に選定理由、図 3-1 に分布図を示す。

表 3-1 生活関連施設の概要

種 別	施設名称
旅客施設	二俣川駅※
	二俣川駅北口バスターミナル
	二俣川駅南口交通広場
官公庁等行政施設	二俣川駅行政サービスコーナー
	旭警察署
	神奈川県運転免許試験場
	自動車安全運転センター神奈川県事務所
文化施設	旭区民文化センター・サンハート
福祉施設	神奈川県ライトセンター
	障害者地域活動ホームふたまたがわ
	フェニックス旭(中途障害者地域活動センター)
	旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ
医療施設	神奈川県立がんセンター
	旭休日急患診療所
商業施設	西友二俣川店
	二俣川駅北口共同ビル
	アルコット二俣川
	グリーングリーン
郵便局	横浜旭郵便局
	横浜二俣川郵便局
銀行・信用金庫	みずほ銀行二俣川支店
	三菱東京 UFJ 銀行 二俣川支店
	三浦藤沢信用金庫二俣川支店
	ゆうちょ銀行横浜旭店
農協	J A 横浜 本店・二俣川支店

※二俣川駅には、二俣川駅の駅舎と二俣川ステーションプラザを含む

表 3-2 生活関連施設の選定理由 (1/2)

種別	生活関連施設に 選定した施設	施設の概要
旅客施設	二俣川駅（相模鉄道）	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の平均乗降客数が約8万人で、区内で一番利用者が多い駅である。 ・相模鉄道線が本線といずみ野線に分岐する駅で、利用客は広域にわたる。
	二俣川駅北口バスターミナル	<ul style="list-style-type: none"> ・北口バスターミナルからは、路線バスが運行している他、羽田空港行き的高速バスが運行されている。
	二俣川駅南口交通広場	<ul style="list-style-type: none"> ・二俣川駅南口交通広場からは、路線バスが運行している。 ・タクシー乗降場がある。
官公庁等行政施設	二俣川駅行政サービスコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所の開庁前・閉庁後や土曜日・日曜日にも住民票や印鑑証明書等の証明書発行の受付及び交付を行なっている。
	旭警察署	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車免許の更新や車庫証明の手続き等ができる警察署である。
	神奈川県運転免許試験場 自動車安全運転センター神奈川県事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許試験場では、自動車の免許の取得・更新等を行っている。 ・自動車安全運転センターでは、交通事故証明書等の各種証明書の発行を行なっている。
文化施設	旭区民文化センター・サンハート	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール、アートギャラリー、ミーティングルーム、カルチャー工房、音楽工房があり、音楽・演劇・舞踏の公演・発表・練習や講演会、映画会などに利用されている。

表 3-2 生活関連施設の選定理由 (2/2)

福祉施設	神奈川県ライトセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県の視覚障害福祉向上に向けた視覚障害者及び視覚障害援助ボランティアのための施設である。 ・ 図書や雑誌の貸し出しの他、個人的な資料の点訳、音声訳等のサービスや日常生活指導、スポーツ活動等のサービスを行なっている。
	障害者地域活動ホームふたまたがわ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害者や肢体障害者を対象に、日中活動事業（デイサービス事業、障害福祉サービス事業）の他、生活支援事業（一時ケア、ショートステイ、余暇活動支援、おもちゃ文庫）などを行っている。
	フェニックス旭 (中途障害者地域活動センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳血管疾患や脳外傷による後遺症をもつ中途障害者を対象として、地域の人との交流・心と体のリハビリ・相談支援と情報発信を行なっている。
	旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学前の子どもやその養育者、妊婦とその家族や子育てを応援する人を対象として、広場の提供や相談、情報発信、講習や研修を行なっている。
医療施設	神奈川県立がんセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県におけるがん医療の中核的機関として高度専門医療を担っており、悪性腫瘍の診断や進行癌の集学的治療を行っている。
	旭休日急患診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜、祝日に、内科と小児科の診療を行なっている。
商業施設	西友二俣川店 二俣川駅北口共同ビル アルコット二俣川 グリーングリーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーや小売店舗からなる規模の大きな商業施設で、日常生活に必要な食料品、衣料品、生活雑貨など販売している。
郵便局	横浜旭郵便局 横浜二俣川郵便局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便、貯金、保険の各サービスを取り扱っており、ATMが設置されている。
信銀行・信用金庫	みずほ銀行二俣川支店 三菱東京UFJ銀行 二俣川支店 三浦藤沢信用金庫二俣川支店 ゆうちょ銀行横浜旭店	<ul style="list-style-type: none"> ・ 預金、保険、住宅ローン、資産運用等を取り扱っており、土日祝日も稼動しているATMが設置されている。
農協	JA横浜 本店 二俣川支店	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信用事業、共済事業、営農・生活・相談事業等を行なっている。 ・ JA横浜 本店は、料理教室や箸置きづくり等、食と農に関するイベント会場としても利用されている。

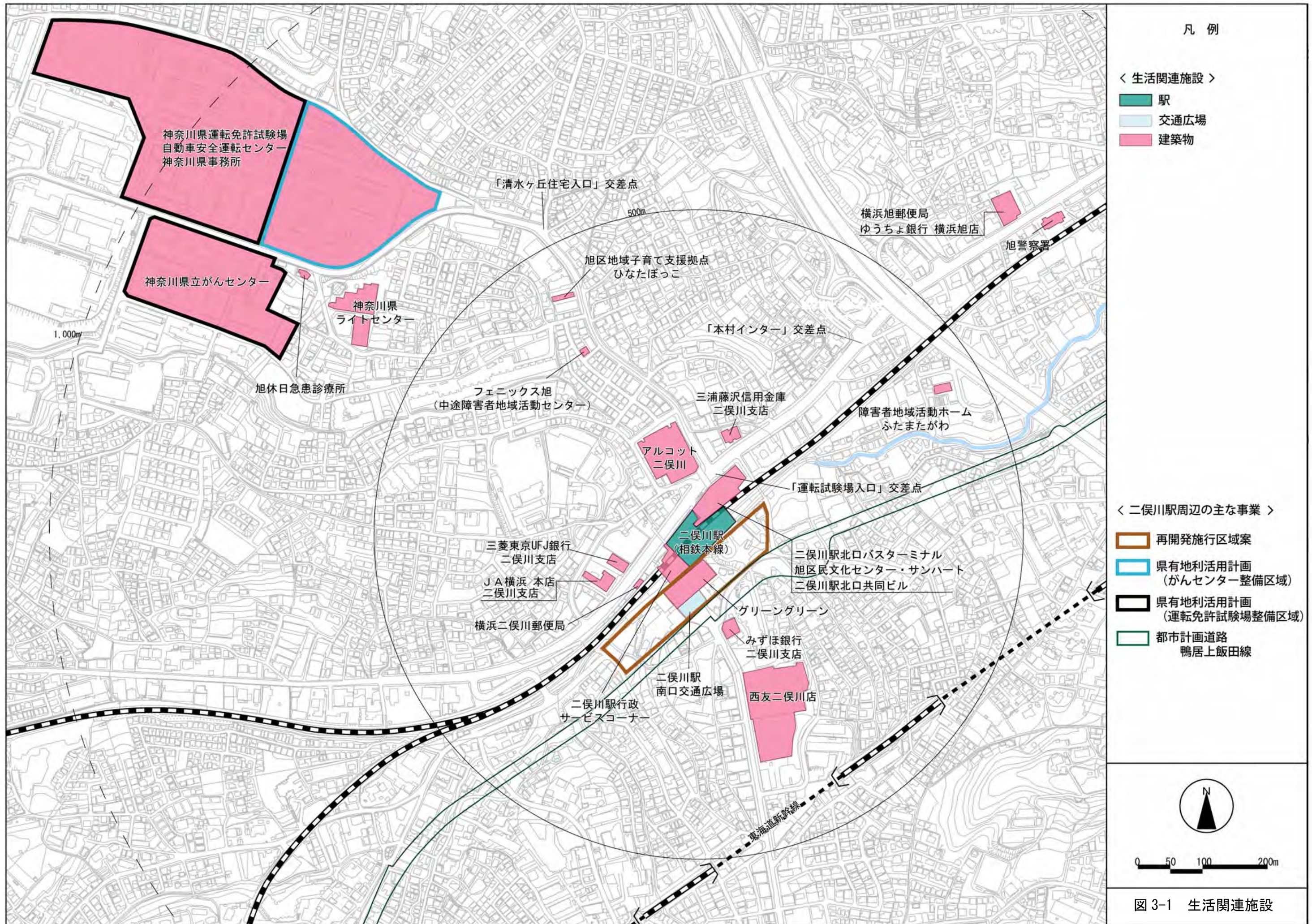


図 3-1 生活関連施設

2. 生活関連経路の設定

バリアフリー法では、生活関連施設相互間の経路を「生活関連経路」と定義している。

これに基づき本基本構想では、駅と生活関連施設を結ぶ経路について、地区内の歩行者の主要な動線、現状の歩道の状況（図 3-2 参照）などを参考に、特にバリアフリー化の必要性が高い経路を生活関連経路として図 3-3 に示すとおり設定する。

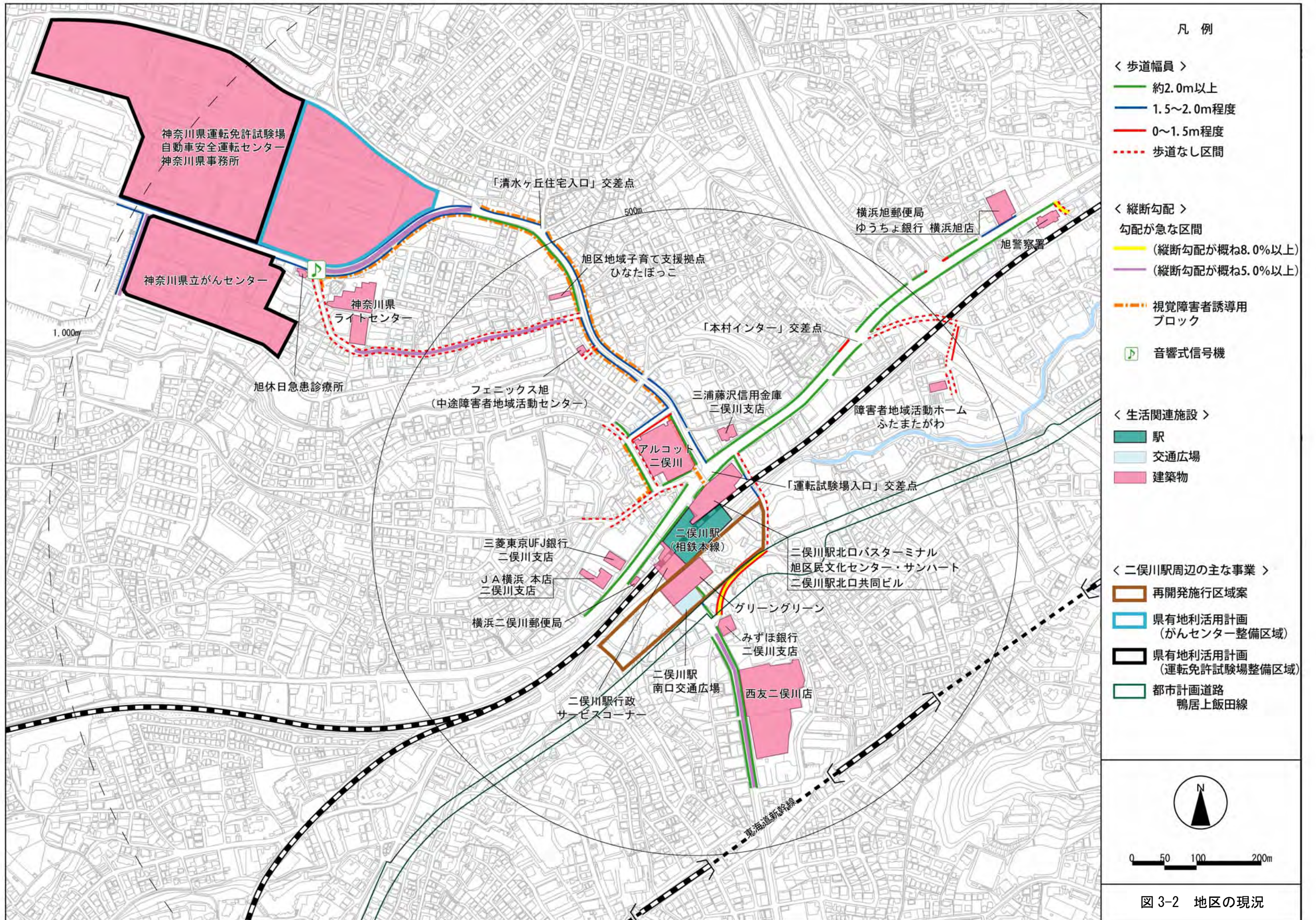


図 3-2 地区の現況

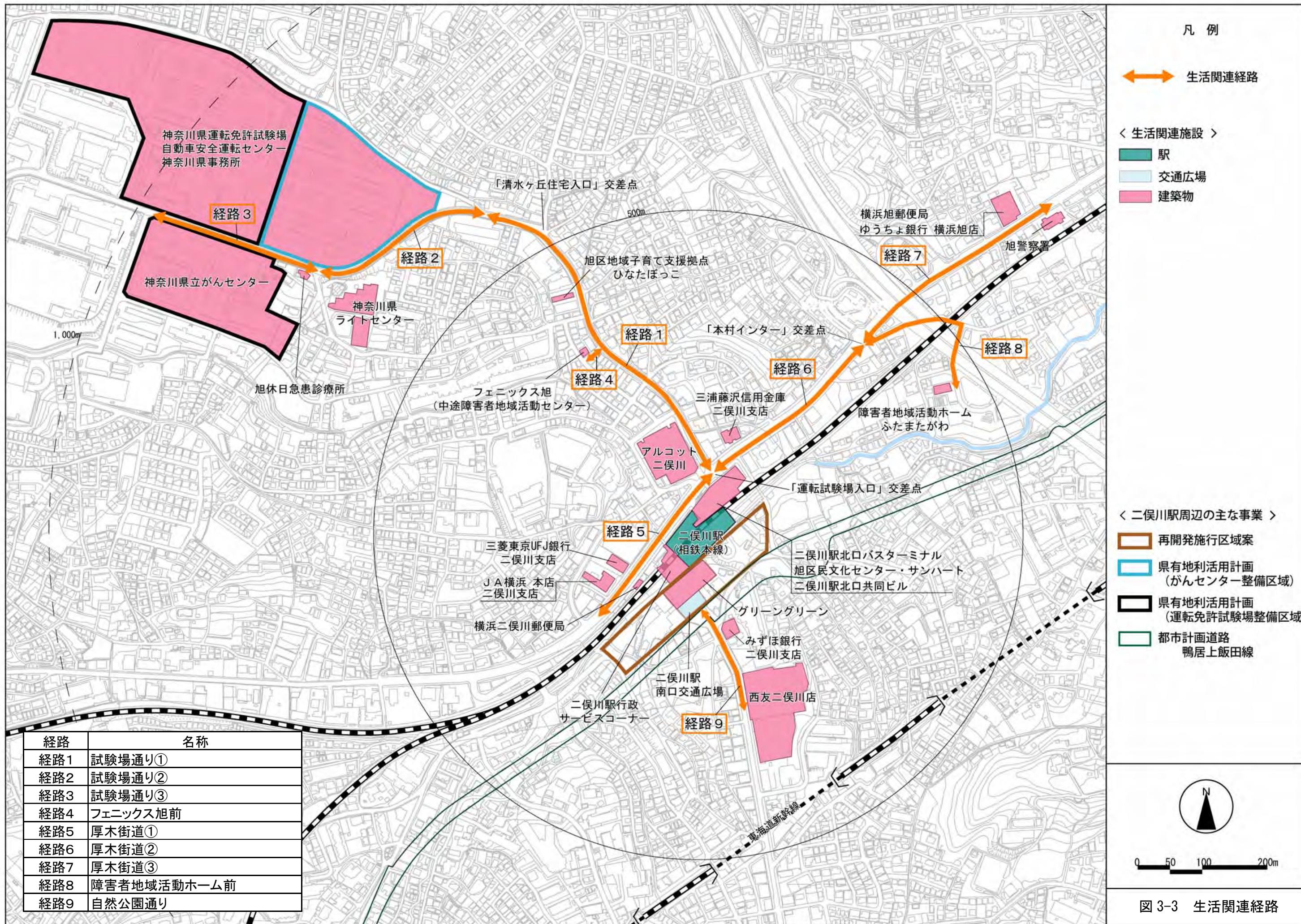


図 3-3 生活関連経路

3. 重点整備地区の範囲設定

バリアフリー法では、重点整備地区とは、地区全体の面積がおおむね 400ha 未満の地区であって、生活関連施設が3以上所在し、かつ、当該施設を利用する相当数の高齢者、障害者等により、当該施設相互間の移動が徒歩で行われることが見込まれる地区であり、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する必要があると認められる地区をいう。

重点整備地区の境界は、可能な限り市町村の区域内的の町境・字境、道路、河川、鉄道等の施設、都市計画道路等によって、明確に表示して定めることが必要である。

これに基づき本基本構想の重点整備地区の範囲は図 3-4 に示すとおりとする。

